



WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2010～2011年度
国際ロータリーのテーマ
地域を育み、大陸をつなぐ
2010～2011年度
RI会長 レイ・クリンギンスミス

創会 立：1980年(昭和55年)1月10日
会 長：田中 隆義
幹 事：加納 裕
副 幹 事：梅村 昌孝
例 会 日：毎週木曜日 PM12:30～
例 会 場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1477回例会

～職業奉仕月間・米山月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2010年10月14日(木) 曇 第14回

於：東急ホテル

司 会：鶴田 浩 会場委員
齊 唱：「我等の生業」「四つのテスト」
ゲストスピーカー：(有)プランニングCanDo 代表取締役
：東海ラジオパーソナリティ 森本曜子さん
ビ ジ タ ー 名古屋南RC 樋江井貴文さん

会長挨拶

田中隆義会長

皆さんこんにちは。本日の例会会場は、ヒルトン名古屋の都合のため東急ホテルで行うこととなりました。いつもと様子が変わり、新鮮味があり時々はいいものです。



先週は突然うれしいニュースが入ってきました。それは鈴木章氏、根岸栄一氏、リチャード・ヘック氏3名のノーベル化学賞受賞の決定です。皆さんご存知だと思いますが、ノーベル賞について少し調べてみましたのでご紹介いたします。ノーベル賞は、ダイナマイトの発明者のアルフレッド・ノーベルの遺言に従って1901年から始まった世界的な賞で、1年に1回行われます。ノーベル賞の受賞対象は「物理学」「化学」「医学生理学」「文学」「平和」「経済学」の6部門であり、特に自然科学部門の「物理学賞」「化学賞」「医学生理学賞」の3部門における受賞は科学分野における最大級の栄誉と考えられています。複数人による共同研究や、共同ではないが複数人による業績が受賞理由になる場合は、一度に3人まで同時受賞することができます。ただし文学賞は一度に1人と定められ、平和賞のみ団体の受賞が認められ、過去には国境なき医師団などが受賞しています。「物理学賞」「化学賞」「経済学賞」の3部門はスウェーデン王立科学アカデミーが、「医学生理学賞」はカロリンスカ研究所が、「平和賞」はノルウェー・ノーベル委員会が、「文学賞」はスウェーデン・アカデミーがそれぞれ選考しているとのことです。授賞式は、ノーベルの命日である12月10日に、「平和賞」以外の5部門はスウェーデン、ストックホルムのコンサートホールにて、「平和賞」はノルウェー、オスロの市庁舎で行われ、受賞者には賞金の小切手、賞状、メダルが贈られます。ノーベル賞受賞者は受賞後にノーベル・レクチャーと呼ばれる記念講演を行うのが通例になっています。その後、受賞者は大学の学生有志団体が行うパーティーに出席し、そこで大学生らとさらなる躍進を願っていっせいに「かえる跳び」をするのが慣例となっているそうです。ちなみに賞金額は、2001年から現在まで1000万スウェーデン・クローナ(約1億円)だそうです。賞金の配分については、今回のように3人の場合は3分の1になるとのことです。

以前の受賞者は欧米の研究者を中心としており、日本人の受賞については第1回から北里柴三郎や野口英世などが候補としてエントリーされていましたが、受賞はしていません。1920年代の選考委員会で「東洋人にはノーベル賞は早すぎる」という発言があったことも

明らかになっているとのことです。日本人では、ご存知のように戦後1949年の湯川秀樹氏が初めて物理学賞を受賞し、今年で18名が受賞されています。物理学賞7名、化学賞7名、文学賞2名、医学生理学賞1名、平和賞1名です。特に「物理学」「化学」「医学生理学」の自然科学系の受賞者は15名です。2001年以降だけでも9名で、この10年間は受賞ラッシュとなり世界で7番目に多く、21世紀に入ってからアメリカ、イギリスに次いで3番目となっています。

しかし、今回の2人の業績は30年以上前のものです。ノーベル賞の受賞資格は、毎年10月の受賞者発表時点で生存していることが条件とされ、発表された後は12月10日の授賞式までの間に死亡しても、発表された賞は取り消されることはないとのことです。いくら立派な業績を残しても死んでしまっただけでは受賞することは不可能ですので、長生きすることが条件の一つになります。どうか皆さんも長生きしてください。

出席報告

稲垣 豊出席委員

会員66名 出席53名 (出席計算人数53名)

出席率 85.2% 10月 6日は補填により 83.1%

10月誕生日おめでとう

高木 勝さん 梅村 昌孝さん 西本 哲さん

幹事報告

加納 裕幹事

- ・本日13時40分より第3回クラブアッセンブリー、第4回理事会を当ホテル3階「梅の間」で開催致します。
- ・10月21日(木)13時40分よりヒルトン名古屋28階「ホワイト」にて推薦小委員会を開催致します。
- ・10月28日(木)は職場例会です。春日井のトヨタホームにて開催致します。

ニコボックス

稲垣 豊ニコボックス委員

- ・本日、飛び入り参加で申し訳ございません。
名古屋南RC 樋江井貴文さん
- ・特別に暑い夏もやっと終わりました。健康で乗り切ったことに感謝して!
高村 博三さん
- ・10月6日は私の誕生日でした。又、10月7日に歴代幹事の皆様には還暦を祝っていただきありがとうございます。
高木 勝さん
- ・本日の卓話講師を飲み仲間森本曜子さんをお願いしてあります。よろしくお願ひします。
田中 隆義さん
- ・9月30日の新入会員研修会並びに10月2日の懇親会では会長、幹事はじめ多数の関係会員にお世話になりありがとうございます。お陰様で無事終わることができました。特に若い会員の関谷さんには議事録作成を、鈴木淑久さんには懇親会の幹事をお願いしましたところ見事にやってくれました。感謝しております。
増田 盛英さん

- インフルエンザワクチンの予防接種できます。65歳以上の方、肺炎球菌ワクチンも接種しています。保険証を持参し、診察時間に来て下さい。
- 田中 英雄さん
- 田中会長に大変お世話になりました。
- 大島 浩嗣さん
- 東急ホテルの昼飯に期待してます。
- 内田 久利さん
- 持ち出し例会ということで、ちょっとすがすがしい気分です。

鈴木 淑久さん

- 新入会員研修会の懇親会、2次会の幹事、鈴木淑久さんにお世話になりました。
- 遠山 堯郎さん
- おそくなりました。敬老の日の祝いの品有難うございました。

山田 鎮浩さん

- 敬老のお祝い、ありがとうございました。
- 岩田 吉廣さん
- 岐阜県の白川町でケーブルテレビのサービスを始めました。事業拡大です。
- 高木 元明さん
- 例会の欠席が続きました。又、台北行きではお世話になります。

吉木 洋二さん

- 欠席が多くて申し訳ありません。
- 森 恒夫さん

卓話

(有)プランニングCanDo 代表取締役
東海ラジオパーソナリティ 森本曜子さん

魔法の言葉で自分の運も未来も変えましょう



皆さん毎日ご機嫌良く過ごされていますか。明るい毎日を過ごすことって大切ですよ。この年になると、もう自分で紙吹雪を撒き散らしながらご機嫌に行くしかないですよ。私はセミナーを開催するとき「明るく楽しく元氣よく」をモットーにしています。全国高額納税者番付でおなじみの斎藤一人さんは「神様は自分の中にいる」とおっしゃっています。自分の体が「お社」で、「お社」をきれいに光らせておかないと人は集まってこないということです。確かに暗い人と付き合いたいとは思いませんし、世の中に根暗で成功した人はいません。名古屋瑞穂RCの皆さんは大成功しているだけあってやはり明るい方ばかりですね。

そして次に大事なことはコミュニケーションです。皆さんコミュニケーションはうまくいっているのでしょうか。今日はコミュニケーションの話をしたと思います。

私は企業や大学、文化センターなどでコミュニケーションの講座をさせていただいております。今話題となっている東京スカイツリーの設計の責任者だった方が現在名古屋の会社で代表をされているのですが、その会社で3ヶ月間コミュニケーションとプレゼンテーションの講座をやらせていただきました。講座の前と後で皆さんははっきりと変わりました。「伝えること」と「伝わること」は全く違うものです。「伝える」というのは主体が自分であるのに対し、「伝わる」ということは相手側が主体となります。人は、トチらないようにしようとか、少しだけ自分をカッコよく決めようとか、チョットだけ頭も良く思われたいとか、「伝えること」に力を入れがちですが、実は「相手に伝わること」がとっても大事です。営業でも企画でも相手に伝わってなんぼであり、伝わるからこそ商品や企画が売れて次の仕事につながります。今、会社のブランドだけでは仕事が取れない時代になってきました。いかにプレゼンテーションで相手に上手に伝えるかがとても重要です。

「コーチング」という言葉を聞かれたことはありますか。これはコミュニケーションスキルの一つなのですが、簡単に言うと「人の話をちゃんと聞けるか」ということです。相手の目を見て笑顔でうなずいたり相槌をうったり、とても簡単なことなのですがなかなかできません。

コミュニケーションは双方向のもので、お互いのベクトルが良い方向に廻って初めてコミュニケーションがうまくいきます。よくスローガンに「挨拶をしよう」と掲げている会社がありますが、

社長が挨拶をしなければ従業員が挨拶をするはずがありません。相手を変えようと思う前に、先ず自分が変わらましよう！自分が変われば相手が変わります。相手が変われば、会社全体の空気が変わります。このことは当たり前のように意図と気付いていない方が多いのです。アメリカの一流企業の会長、社長、副社長1,500人に「あなたはどのようにやって今の地位を得ることができましたか」という質問をしたところ72%の方が「コミュニケーションの勉強をしたから」と回答したそうです。クライスラーの元会長であるアイアコッカも25歳のときに話し方教室に行き、それによって人前で話すことが平気になったと言います。私達、日本人は「読み」「書き」「そろばん」と読むこと、書くこと、計算することは、たくさん習ってきました。でも、いちばん大事なはずの、コミュニケーションに関しては、きっと誰も習っていないことと思います。自分の思いを相手に伝え、相手を説得する、これも全てコミュニケーションなのです。

それでは、皆さんお二人ずつペアを組んで下さい。今から1分間ずつ差し上げますので、椅子ごと向き合って相手を褒めてあげてください。そして褒めてもらった方は褒めてもらった数を覚えておいてください。やはりこれも訓練なのです。「褒めて下さい」と突然言われると戸惑いませんか。誰にでも褒めるところは必ずあるので、その見つけ方が重要です。私は地下鉄の中で、前に座っている女性の方を見ながらその人の良いところを見つける訓練をしています。ちなみに心にもないことを言っても相手は嬉しくありませんので心から思ったことを口に出すことが必要です。今、若い人の中では「ホメカツ(褒める活動)」がはやっているそうです。褒められると良い気分になり、自然と相手のことも褒めてしまうものです。先程申し上げたように良いベクトルはこのようにして廻っていきます。皆さんに褒められれば、従業員の方は嬉しいものです。笑顔が広がってやる気も出るでしょう。社長の一言はそれくらい大きいのです。ですから皆さんいつも笑顔でほめ上手になってください。いかに従業員を喜ばせて前向きに仕事をしてもらうか、いかに社内の雰囲気が出るか、それはとても大事なことです。

マイケル・ジャクソンのロンドン公演リハーサルを映画にした「THIS IS IT」という映画をご覧になった方はいらっしゃるでしょうか。その中でオリアンティという女性ギタリストがソロで演奏するシーンがあります。マイケルには欲しい音があるのですがオリアンティはなかなかその音を出すことができません。その際、マイケルは決して否定せずまずはオリアンティの出した音を褒め、そのあとに自分の希望を乗せていきます。(英語では「YES AND」という表現。)そのうちだんだんオリアンティの音はマイケルが望むものに近づいていきました。皆さんは会社で従業員を頭ごなしに否定していないでしょうか。また皆さんは式典やパーティーに出席し挨拶をする機会が多いと思いますが、そこでも人の話をまずは一旦認め、そのあとに自分の意見を乗せていくと良いと思います。そうすることで前の人が生き、自分も更に光ることができます。

日本人は不幸の数を数えるのが得意だと言われておりますが、人の頭というのはネガティブなことを考えるとどんどんマイナスな方へ落ちていきます。ですから皆さん是非ポジティブな言葉を使って下さい。本日はありがとうございました。

例会のご案内

■今週の卓話 10月21日(木)

会員卓話：加納 裕さん

テ — マ：ウガンダ共和国ムイエンガRCを訪問して

■次週の行事 10月28日(木) 職場例会

場 所：トヨタホーム春日井工場

■次々週卓話 11月4日(木)

卓話講師：愛知県瑞穂警察署長 梅村昭夫さん

テ — マ：瑞穂区の治安情勢について考える